

## 東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設

## 平成 31 年度資料収集の方針について

## 1 収集の基本方針

- (1) 福島ならではの資料収集を実施するために、原則として「福島が経験してきた後世に伝えたい内容」を収集の前提とし、「東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設に関する資料収集ガイドライン」に基づいて収集を行う。
- (2) 体系化した資料を分析し、収集の方針と重点を明らかにして資料を収集する。

## 2 収集方針の重点

## (1) 地域別資料の収集

- 浜通り地区は、おおむね万遍なく収集しているが、飯館村や南相馬市については資料数が少ないため、重点的に収集していく。
- 帰還困難区域の大熊町、双葉町、浪江町津島については、特定復興再生拠点区域の整備に伴い家屋の解体等が進むため、町と連携して情報を収集し、資料を収集していく。

## (2) 体系別資料の収集

- 震災直後の資料が少ないため、特に原子力発電所事故直後の被害の様子や対応についての資料を積極的に収集していく。
- 事故前文化に関する資料が少ないため、浜通り地方の自治体の広報誌等を通して、文化に関する資料の提供を呼びかけ、資料収集を行っていく。

## (3) 体験証言の収集

- 市町村職員からの証言数が少ないことから、退職した職員を含めて証言を収集していく。特に福島第一発電所事故の影響が大きかった南相馬市、飯館村、葛尾村、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、川俣町について収集を行う。
- 災害対応に当たった消防士・消防団員について、福島第一原子力発電所事故の影響の大きかった南相馬市、飯館村、葛尾村、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、川俣町の消防団員から証言を収集する。(現在、飯館村、葛尾村、浪江町、富岡町からの証言が得られていない。)
- 証言の少ない女性や 20 代(平成 23 年から 26 年当時)から証言を収集する。

地域別収集資料点数

平成30年8月末現在

喜多方市	北塩原村	桑折町	国見町	新地町
		17	2	1,477
西会津町	猪苗代町	福島市	伊達市	相馬市
1	32	410	385	11,605
柳津町	磐梯町	二本松市	川俣町	飯館村
	3	57	149	243
三島町	湯川村	大玉村	田村市	南相馬市
		2	506	2,925
金山町	会津坂下町	本宮市	三春町	浪江町
	50	2	51	33,646
昭和村	会津若松市	郡山市	小野町	葛尾村
	121	212	1	2,222
只見町	会津美里町	須賀川市	平田村	双葉町
	16	693	1	22,408
檜枝岐村	下郷町	鏡石町	玉川村	大熊町
		4	1	21,280
	南会津町	天栄村	石川町	富岡町
		1	1	9,306
		矢吹町	浅川町	川内村
		3	1	2,644
		泉崎村	古殿町	楢葉町
		1	1	16,743
		中島村	鮫川村	広野町
		1	1	3,258
		白河市	棚倉町	いわき市
		178	1	2,285
		西郷村	塙町	
		9,484	1	
			矢祭町	
			4	
	福島県			
		9,099		
	未分類			
		28,645		

全国	新潟県	奈良県	熊本県	アメリカ
59	34	15	37	1,167
北海道	富山県	和歌山県	大分県	オランダ
71	11	9	104	146
青森県	石川県	鳥取県	宮崎県	シンガポール
36	57	6		71
岩手県	福井県	島根県	鹿児島県	台湾
216	121	396	85	48
宮城県	山梨県	岡山県	沖縄県	韓国
387	3	699	66	18
秋田県	長野県	広島県		ウクライナ
	1,318	3,808		5
山形県	岐阜県	山口県		フランス
123	77	93		3
茨城県	静岡県	徳島県		ドイツ
27	54	7		2
栃木県	愛知県	香川県		スリランカ
8	1,859	123		1
群馬県	三重県	愛媛県		ソロモン諸島
57	162	8,967		1
埼玉県	滋賀県	高知県		デンマーク
203	1	1		1
千葉県	京都府	福岡県		ベトナム
391	287	570		1
東京都	大阪府	佐賀県		ペラルーシ
516	103	315		1
神奈川県	兵庫県	長崎県		ラオス
105	120	162		1

2019年1月8日 深谷直弘 (福大FURE)

震災関連資料体系項目ごとの集計結果と傾向について

■集計結果

- ・項目「発災1ヶ月～現在」の資料が全体の過半数を占める。
- ・項目「支援」に関する資料が全体の約2割以上を占める。
- ・項目「発災～1ヶ月」に関する資料のうち、原発事故関係の項目が全体の約1%と少なくなっている（次頁参照）。
- ・震災以前のうち、震災・事故以前の文化に関する資料が1%以下となっている（次頁参照）。

■収集の傾向と課題

- ・震災直後の資料が少なく、震災後の資料が多い。
- ・震災直後の資料も今後集める必要がある。
- ・特に原発事故に関する資料が少ないが、これは公文書などを集めることで解決できるのではないか。

	2017年4月～2018年9月まで	全ての資料	一次資料（県各課提供の新聞記事スクラップ資料を除く）
震災以前	震災・事故以前の産業	11%	13%
	震災・事故以前の文化		
	震災・事故以前の生活		
発災～1ヶ月：被害の様子	被害の様子：地震	5%	5%
	被害の様子：津波		
	被害の様子：原発事故		
発災～1ヶ月：対応（救援・避難）	対応（救援・避難）：地震	3%	3%
	対応（救援・避難）：津波		
	対応（救援・避難）：原発事故		
発災1ヶ月～現在：復旧と復興	復旧と復興	9%	11%
発災1ヶ月～現在：原発事故（放射線など）による影響と対応	原発事故（放射線など）による影響	51%	43%
	原発事故（放射線など）への対応		
	支援	21%	25%
	計	100%	100%

## 集計結果（詳細）

2017年4月～2018年9月まで	全ての資料	%	一次資料（県各課提供の新聞記事スク ラップ資料を除く）	%	備考
震災・事故以前の産業	6692	5.9%	6669	7.1%	
震災・事故以前の文化	306	0.3%	289	0.3%	
震災・事故以前の生活	5501	4.9%	5376	5.7%	
被害の様子：地震	2196	2.0%	2014	2.1%	
被害の様子：津波	3083	2.7%	2875	3.1%	
被害の様子：原発事故	263	0.2%	89	0.1%	
対応（救援・避難）：地震	313	0.3%	171	0.2%	
対応（救援・避難）：津波	2028	1.8%	1873	2.0%	
対応（救援・避難）：原発事故	884	0.8%	727	0.8%	
復旧と復興	10274	9.1%	9983	10.6%	
原発事故（放射線など）による 影響	36465	32.4%	35886	38.2%	うち約、31000点が写真
原発事故（放射線など）への対 応	21321	18.9%	4754	5.1%	
支援	23216	20.6%	23170	24.7%	大部分がひまわりプロジェクトの 資料
計	112542	100%	93876	100%	

# 体験証言者地区別・年齢別・男女別人数

震災体験をした 市町村別	地域 別	男女別		年齢別							行政・公 共機関	(役場 職員)
		男女別	女	20以下	20代	30代	40代	50代	60代	70以上		
いわき市	76	56	20	0	2	11	9	20	26	8	18	(4)
相馬市	36	28	8	0	1	2	10	4	15	4	12	(1)
南相馬市	37	22	15	0	1	4	3	13	9	7	6	(1)
新地町	13	5	8	0	0	1	0	1	8	3	1	
飯館村	14	6	8	0	3	1	2	2	6	0	3	
葛尾村	6	4	2	0	0	1	2	1	1	1	1	
浪江町	15	13	2	1	0	0	2	4	7	1	7	(1)
双葉町	4	2	2	0	0	0	0	2	1	1	2	
大熊町	19	16	3	0	0	0	1	9	9	0	12	(4)
富岡町	24	13	11	0	0	1	3	8	5	7	2	
楡葉町	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
川内村	14	10	4	0	0	0	2	4	5	3	5	(3)
広野町	19	16	3	0	0	0	1	3	11	4	6	(2)
第一原発構内	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
福島市	40	29	11	0	6	2	11	7	12	2	19	
郡山市	5	5	0	0	0	1	0	4	0	0	3	
白河市	4	4	0	0	0	0	0	1	2	1	3	
二本松市	3	3	0	0	0	0	0	0	3	0	1	
須賀川市	3	3	0	0	1	0	1	0	1	0	3	
伊達市	4	4	0	0	0	0	0	0	4	0	0	
田村市	2	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	
川俣町	8	7	1	0	0	0	1	0	7	0	2	(1)
玉川村	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
小野町	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	
西郷村	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
会津若松市	5	3	2	0	0	0	2	2	1	0	2	(1)
喜多方市	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
南会津町	2	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	
金山町	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
東京都	7	4	3	0	2	2	1	1	0	1	4	
群馬県	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
千葉県	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
香港	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
合計	370	0.27	265	105	1	16	29	52	93	136	43	118
			71.6	28.4	0.3	4.3	7.8	14.1	25.1	36.8	11.6	
					20以下	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	

公共機関・ 団体	市町村職員18(いわき市、相馬市、南相馬市、浪江町、大熊町、川内村、広野町、川俣町、会津若松市)、教員16、県関係職員14(都市公園緑化協会、あづま総合体育館)、消防団員12  ☆町関係職員(議員2、副町長1、元助役1、社会教育指導員1、文化財保護審議員1、民生委員3、社会福祉協議会6、行政区長6、地区婦人会長1、仮設自治会長4、消防士4) ☆教育関係者(教育長1、保育士1、学童施設1、自然の家1) ☆県職員(水産試験場1、相馬港湾事務所1、高校職員1、県文化センター1、空港ビル1、元職員1) ☆医療関係(医師2、保健技師3、放射線技師1、医療技師1) ☆商工・観光関係(町商工会長2、相馬双葉漁協組合長1、大堀相馬焼組合長1、県酒造組合長1、相馬市観光協会1、岳温泉観光協会長1、青年会議所1)
その他	旅館女将、伝統芸能保存会、宮司、郵便局員、復興支援員

いわき市	市職員4(教育文化事業団、考古資料館、児童養護施設、アリオス)、民生委員1、高校職員2、教員4、行政区長2、地区婦人会長1、社会福祉協議会1、医師2、青年会議所1
相馬市	教員2、消防団員5、保育士1、教育長1、県職員1(水産試験場)、若女将1、市観光協会1、相馬双葉漁協組合長1
南相馬市	県職員1(相馬港湾事務所)、市職員1(元健康福祉部長)、消防団員3、教員1
新地町	町議員1、旅館女将1、神楽保存会1
飯館村	社会福祉協議会2、民生委員1、宮司1
葛尾村	村議員
浪江町	教員3、町臨時職員1、副町長1、大堀相馬焼組合長1、町商工会長1
双葉町	教員1、消防団員1
大熊町	町職員4(建設課長、産業課長、総務課長、町長車運転手)、社会福祉協議会2、文化財保護審議員1、社会教育指導員1、医療技師1、仮設自治会長1、大熊商工会長1、消防士1
富岡町	教員1、行政区長1、郵便局員1
檜葉町	消防団員1
川内村	村職員3(復興対策課除染係1)、行政区長1、消防士1
広野町	町職員1、元助役1、仮設自治会長3、消防団員1、請戸芸能保存会1
福島市	県関係職員11(都市公園緑化協会3、あづま総合体育館8)、県文化センター1、保健技師3、放射線技師1、消防士1、元県職員1、教員1
郡山市	教員2、県関係職員1(都市公園緑化協会)
白河市	消防士1、消防団員1、民生委員1、宮司1
二本松市	岳温泉観光協会長1
須賀川市	県関係職員1(あづま体育館)、教員1、県商工会職員1
田村市	復興応援隊1
川俣町	町職員1、山木屋自治会長1
玉川村	空港ビル職員1
小野町	学童施設職員1
西郷村	自然の家職員1
会津若松市	公民館職員1、県酒造組合長1
金山町	教員1
東京都	区職員2、県関係職員1(あづま体育館)、相馬市行政区長1、復興支援員2
千葉県	社会福祉協議会1